

タイプでわかる！ぴったりの学習スタイル

こんなタイプのあなたにはこんな学習がぴったり！

スタート！あなたは、家庭学習をしていますか？

あそびながら
おぼえながら

あなたは、外に出て、いろいろなものを見たり触ったりするのが好きですか？

はい

いいえ

あなたは、図鑑や辞典・辞書、インターネットなどを使って知りたいことを自由に調べたり、わからないことを先生や友達にどんどん聞いたりすることが得意ですか？

はい

いいえ

あなたは
登山家
タイプ

あなたは
野武士
タイプ

あなたは
大器晩成
タイプ

あなたは
芸術家
タイプ

あなたは
新聞記者
タイプ

あなたは、いろいろな物をよく見て、どんどん調べてみましょう。できれば、「見るのは苦手だけど、調べたりまとめたりするのは得意だよ」という人を誘って、一緒にやってみましょう。発見したことや調べてわかったことは、どんどん人に知らせるようにするとよいでしょう。書いてまとめたものを読んでもらってもいいでしょうし、書くのが苦手な人は、お話をすると、先生や、書くのが得意な友達が、まとめ方を教えてくれるでしょう。

あなたは、自分が見たこと・触ったもの・やってみたことの中で「不思議だな」「どうなっているのかな」と思ったことについて、まずは先生やおうちの人、友達などに聞いてみましょう。そして、図鑑や辞典・辞書などを使って調べる方法を教えてもらいましょう。できれば、一緒に調べてくれる人を見つけて、お話をしながら調べることができるはずです。わかったことは、ノートに書いたり絵に描いたりしてみましょう。書いたり描いたりするのが苦手な人は、写真を撮って貼り付けたり、パソコンのワープロソフトを使ってもいいかもしれませんね。

あなたは、あわてずに、ゆっくりのんびりやっていきましょう。まずは、おうちの人と一緒に、いろんな体験をたくさんしてみましょう。料理、キャンプや野外活動、カッターやナイフを使った工作、絵本の読み聞かせをしてもらうなど、手と目と足、身体全体を使った体験をたくさんしていきましょう。そうやってたくさんしたことの中から「面白いなあ」と思ったことについて、いろんな人に聞いたり調べたりしてみましょう。それがあなたの「学び」の始まりです。

今までのテストや問題集などを見直して、自分がどんなところで間違えているのか確かめてみましょう。うっかり間違いの多い人は、何を忘れているのか、どんなことに気をつけられないのかをよく考えて（わからないときは、先生にアドバイスをもらいましょう）、紙や付せんを書いて自分の机にはっておきましょう。それを見ながら問題を解いて、気をつける練習をします。担任の先生がいいと言ってくれたら、教室の机にもはってみましょう。問題の意味をよく考えずに間違えてしまうことが多い人は、その問題が何を聞いているのか、そのことについて学習したことはどんな意味だったのかを、教科書を見直してもう一度確かめてみましょう。それでもよくわからなければ、先生に質問して、絵や図などを使いながら説明してもらおうとよいでしょう。

あなたは、いろいろな本や新聞・雑誌などを読んで、興味・関心を広げてみましょう。目を引いた記事や内容などがあったら、ノートに書き抜いたり、切り抜いてノートに貼ったりして、思ったことを一言書き添えておくのもいいでしょう。また、わからないことや思うことがあったら、おうちの人や友達、先生とお話をしたり、自分の疑問や意見を文章にまとめて、いろんな人に読んでもらったりしてみましょう。

あなたは、問題を解いて間違えたとき、「なぜ間違えたか」を考える方ですか？

答え

意味を考えて解く

あなたは、問題を解いているとき、意味とは関係ない「つまらない」ところで間違えてしまうことが多いですか？

はい

いいえ



先生と相談しながら、
学習することを決めよう！